

多職種連携等研修会

～地域ケア会議に参加するための養成～

地域包括ケアシステム下で、住み慣れた地域社会で自分らしい生活を最期まで続けられるよう医療、介護の関係機関と多職種連携、協働して総合的な支援で生活を支えることが求められます。

生活全体の情報を、多く持っている介護福祉士は多職種連携の中で、生活支援の専門家として介護の根拠を言語化し伝えていく役割があります。

本研修では、介護福祉士が多職種連携・協働していく必要性を習得することを目的とします。

プログラム

	日程	会場	内容
実践編	令和2年2月18日(火) 受付 9:00～ 研修 9:30～16:30	JA長野県ビル13階 A	・地域ケア会議に参加するための養成 ①多職種協働の課題 ②グループワークの目的と意義 ③グループワークの進め方ロールプレイ

1 会場 JA長野県ビル13階A 長野市北石堂町1177番地3 TEL 026-236-3600

2 講師 宮島 渡氏 恵仁福祉協会理事長 アザレアンさなだ総合

日本社会事業大学専門職大学院特任教授

3 受講料 会員 3,000円 テキスト 2,000円
非会員 6,000円 ”

4 定員締切 30名

5 締切り 1月24日

6 申込み 申込み用紙を下記にFAXで申し込む

7 対象 介護福祉士(地域ケア会議に参加している方又は参加予定の方)